

2010年7月29日

**2011年3月期 第1四半期
決算カンファレンスコール資料**

2011年3月期 第1四半期 業績概要（前年同期比）

（単位：億円）

	2010年3月期 第1四半期 (2009/4~2009/6)		2011年3月期 第1四半期 (2010/4~2010/6)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	率 (%)
売 上 高	2,254	100.0	3,132	100.0	878	38.9
営 業 利 益	-56	-2.5	406	13.0	462	—
税引前四半期純利益	7	0.3	463	14.8	456	—
当社株主に帰属する 四半期純利益	-5	-0.2	299	9.5	304	—
設 備 投 資 額	56	2.5	120	3.8	64	114.3
減 価 償 却 費	148	6.6	127	4.1	-21	-14.3
研 究 開 発 費	131	5.8	114	3.6	-17	-13.2
平 均 為 替 レ ー ト	対ドル: 97円	対ユーロ: 133円	対ドル: 92円	対ユーロ: 117円		
為替変動による影響額 (前年同期比)	売上高	約-190億円	約-120億円			
	税引前 四半期純利益	約-55億円	約-55億円			

2011年3月期 第1四半期 事業セグメント別売上高

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期 第1四半期 (2009/4~2009/6)		2011年3月期 第1四半期 (2010/4~2010/6)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	率 (%)
■ ファインセラミック部品関連事業	93	4.1	172	5.5	79	86.0
■ 半導体部品関連事業	281	12.5	428	13.7	147	52.5
■ ファインセラミック応用品関連事業	299	13.2	448	14.3	149	50.1
■ 電子デバイス関連事業	454	20.1	595	19.0	142	31.2
部品事業 計	1,126	49.9	1,644	52.5	518	46.1
■ 通信機器関連事業	368	16.3	648	20.7	280	76.0
■ 情報機器関連事業	538	23.9	585	18.7	47	8.8
機器事業 計	906	40.2	1,232	39.4	326	36.1
■ その他の事業	268	11.9	326	10.4	58	21.7
調整及び消去	-46	-2.0	-71	-2.3	-25	—
売上高	2,254	100.0	3,132	100.0	878	38.9

2011年3月期 第1四半期 事業セグメント別事業利益

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期 第1四半期 (2009/4~2009/6)		2011年3月期 第1四半期 (2010/4~2010/6)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	率 (%)
■ ファインセラミック部品関連事業	-28	—	23	13.5	51	—
■ 半導体部品関連事業	17	6.0	90	21.0	73	433.2
■ ファインセラミック応用品関連事業	11	3.8	74	16.6	63	560.6
■ 電子デバイス関連事業	-23	—	95	15.9	118	—
部品事業 計	-23	—	282	17.2	305	—
■ 通信機器関連事業	-54	—	51	7.9	105	—
■ 情報機器関連事業	21	3.9	55	9.4	34	162.3
機器事業 計	-33	—	106	8.6	139	—
■ その他の事業	-0	—	19	5.7	19	—
事業利益 計	-55	—	407	13.0	462	—
本社部門損益	51	—	59	—	8	14.8
持分法投資損益	11	—	2	—	-9	-81.2
調整及び消去	1	—	-5	—	-6	—
税引前四半期純利益	7	0.3	463	14.8	456	—

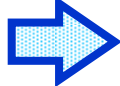
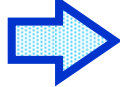
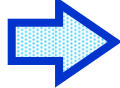
2011年3月期 第1四半期 業績概要（前期第4四半期比）

（単位：億円）

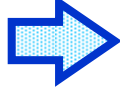
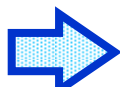
	2010年3月期 第4四半期 (2010/1~2010/3)		2011年3月期 第1四半期 (2010/4~2010/6)		増減	
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	金額	率(%)
売上高	3,049	100.0	3,132	100.0	83	2.7
営業利益	258	8.5	406	13.0	148	57.1
税引前四半期純利益	281	9.2	463	14.8	182	65.1
当社株主に帰属する 四半期純利益	216	7.1	299	9.5	83	38.3
設備投資額	157	5.2	120	3.8	-37	-23.7
減価償却費	156	5.1	127	4.1	-29	-18.4
研究開発費	118	3.9	114	3.6	-4	-3.6
平均為替レート	対ドル: 91円	対ユーロ: 126円	対ドル: 92円	対ユーロ: 117円		

2011年3月期 第1四半期 決算要約

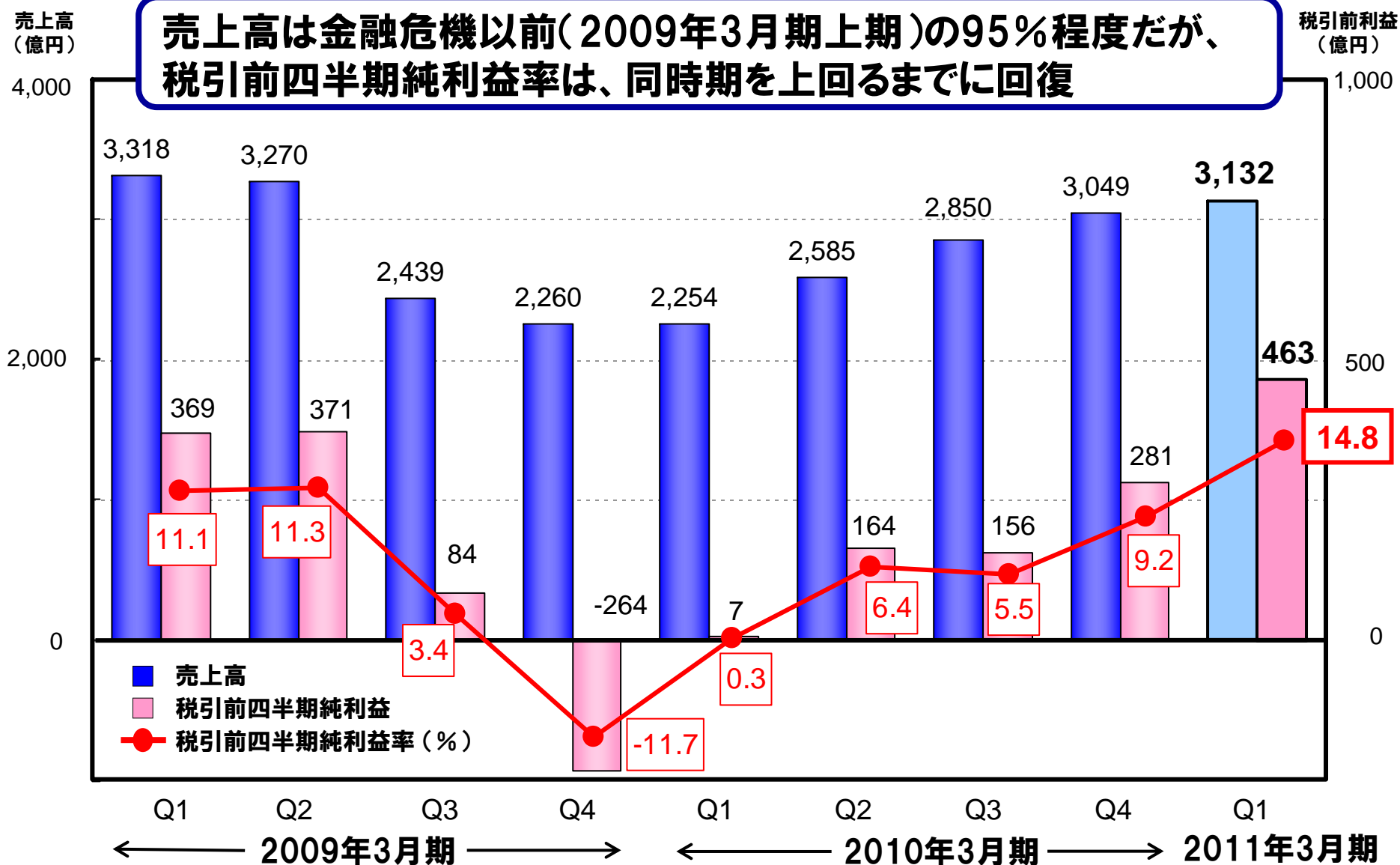
前年同期比： 大幅な増収増益

- ① 事業環境の改善  部品需要の増加
- ② 新商品の投入及び拡販  通信機器関連事業の売上増
- ③ 原価低減による各事業の基盤強化  大幅な収益性の改善

前期第4四半期比： 増収増益を確保

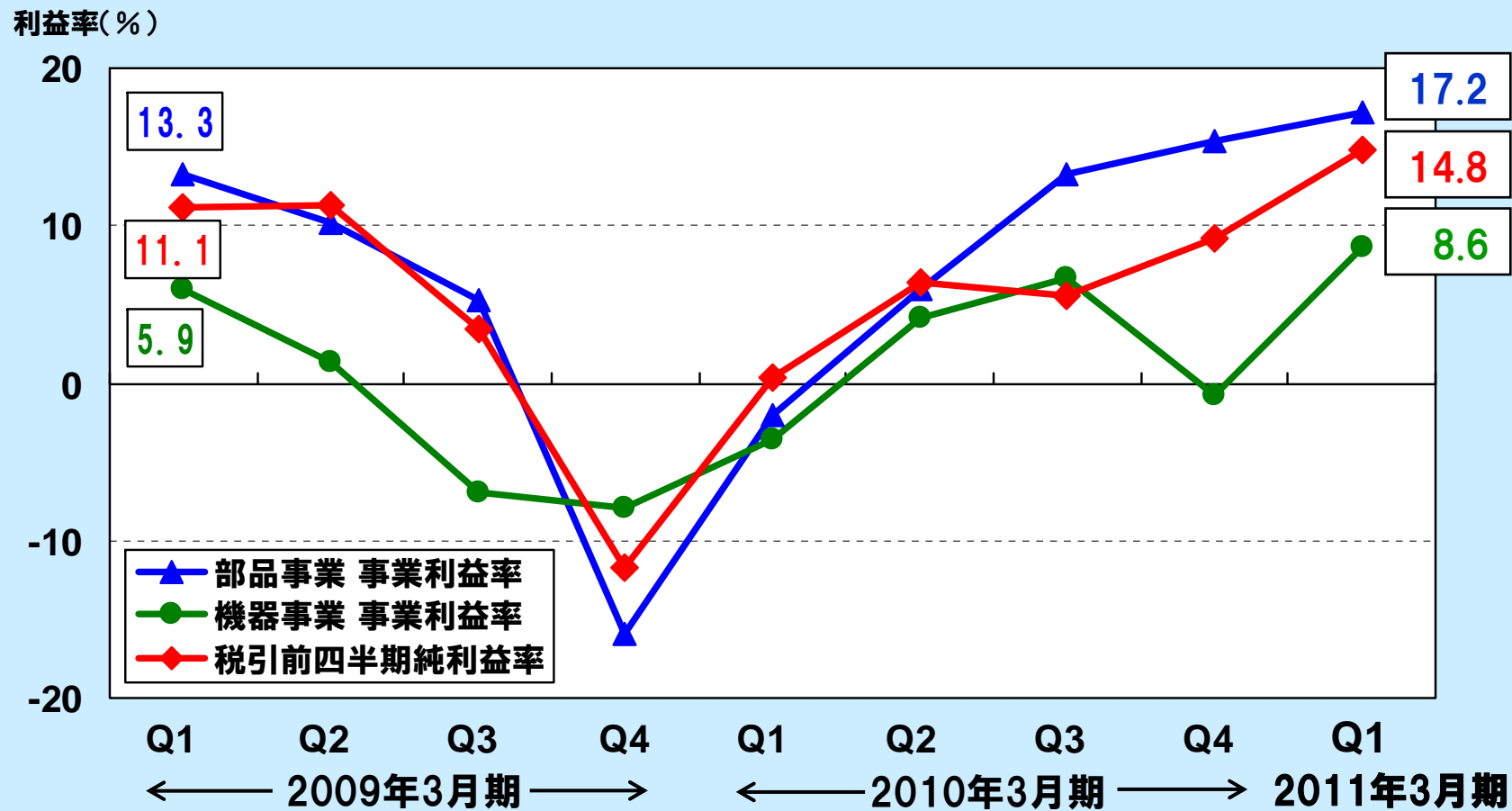
- ① 部品需要の増加  部品事業の収益性向上
- ② 海外携帯電話端末事業の収益性改善  通信機器関連事業の利益増

四半期業績推移



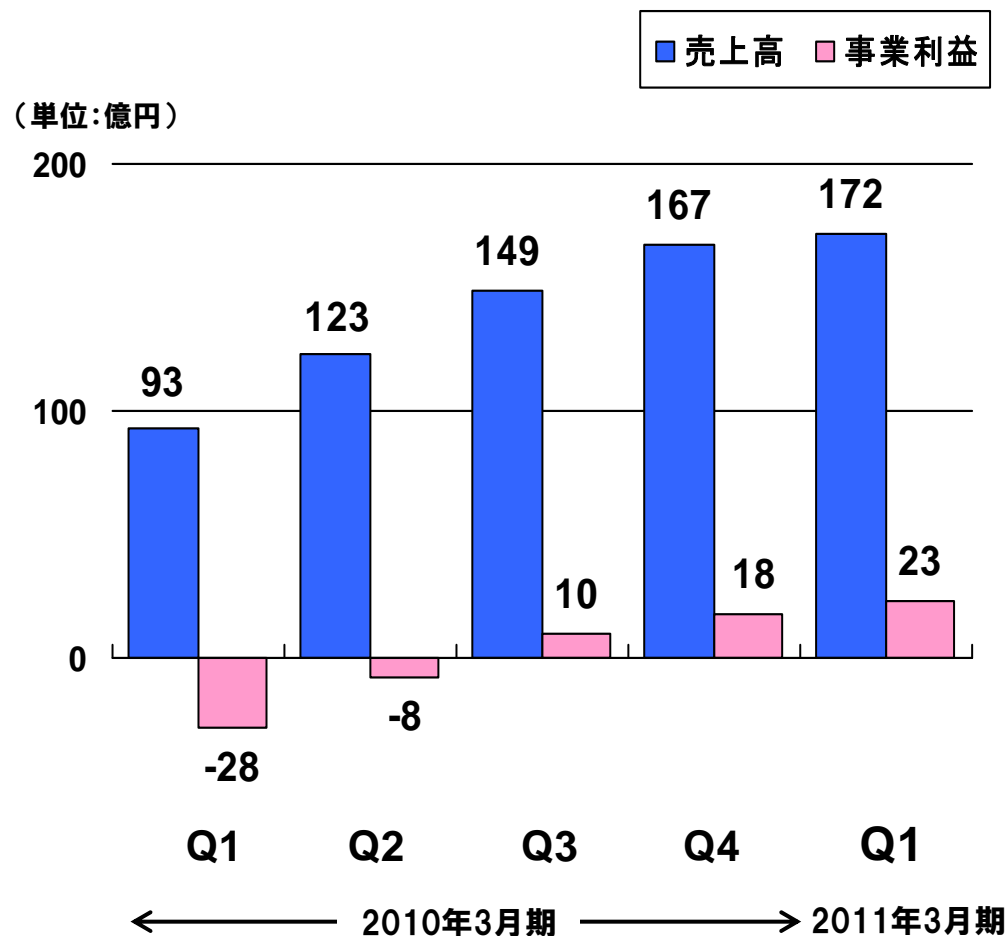
利益率の四半期推移

- 部品事業の利益率は17.2%へ改善
- 部品事業、機器事業ともに金融危機以前の利益率を上回る



事業セグメント別四半期推移

ファインセラミック部品関連事業



前年同期比

売上高 + 79億円
事業利益 + 51億円

- ・ 産業機械用部品や自動車関連部品の需要の増加により、大幅な増収
- ・ 増収効果及び原価低減活動などの成果により、事業利益は大幅に改善

前期第4四半期比

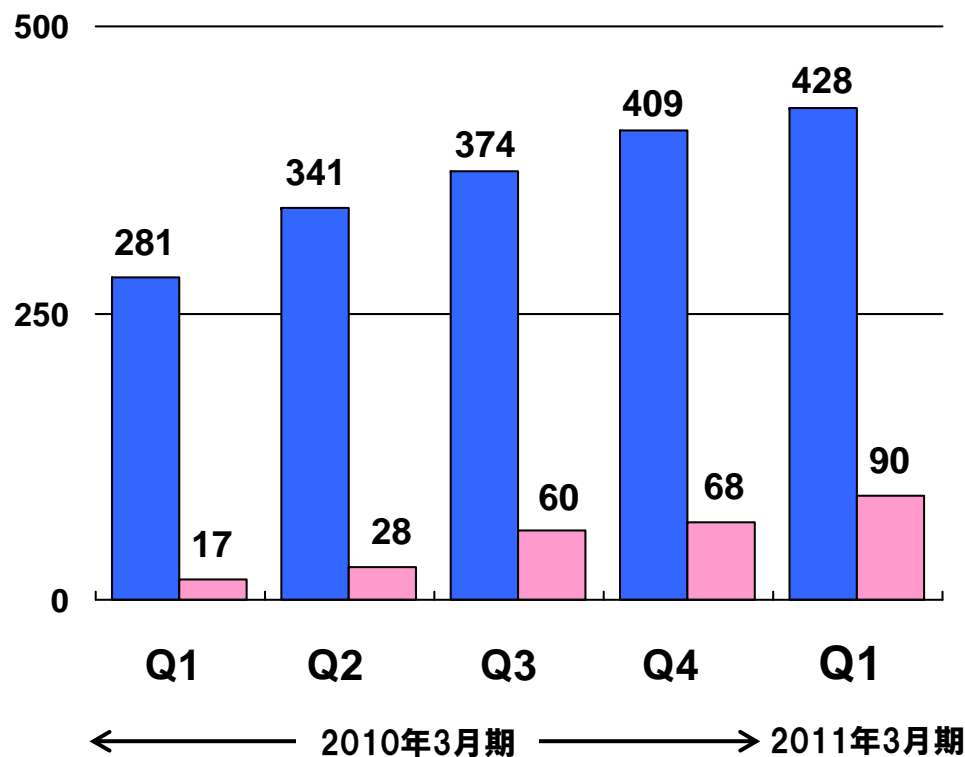
売上高 + 5億円
事業利益 + 5億円

- ・ 特に半導体製造装置用部品の需要増、及び各事業の収益性向上により、増収増益

事業セグメント別四半期推移

半導体部品関連事業

(単位:億円)



前年同期比

売上高 +147億円
事業利益 +73億円

- セラミックパッケージ及び有機パッケージの需要増加により、売上高、事業利益ともに拡大

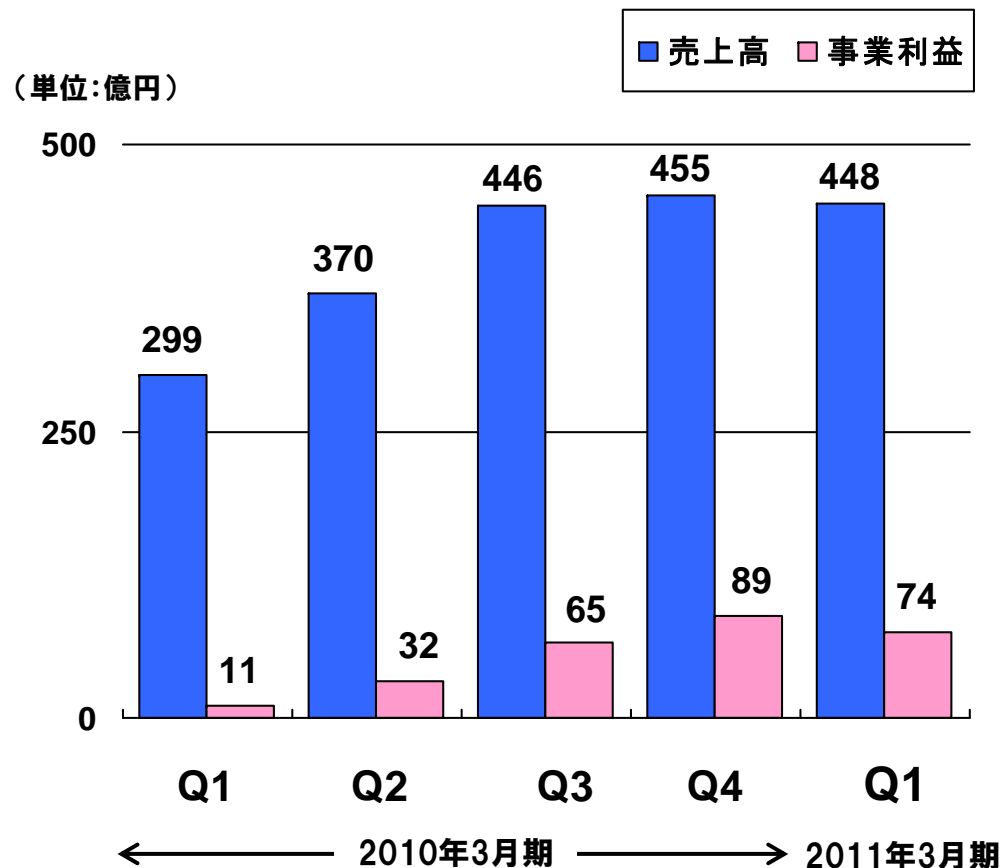
前期第4四半期比

売上高 +19億円
事業利益 +22億円

- セラミックパッケージ及び有機パッケージともに需要は堅調に推移
- 増収効果及び収益性向上により増益

事業セグメント別四半期推移

ファインセラミック応用品関連事業



前年同期比

売上高 + 149億円
事業利益 + 63億円

- ・ 円高の影響はあったものの、ソーラーエネルギー事業や機械工具事業の需要の増加、原価低減活動などの成果により、増収増益

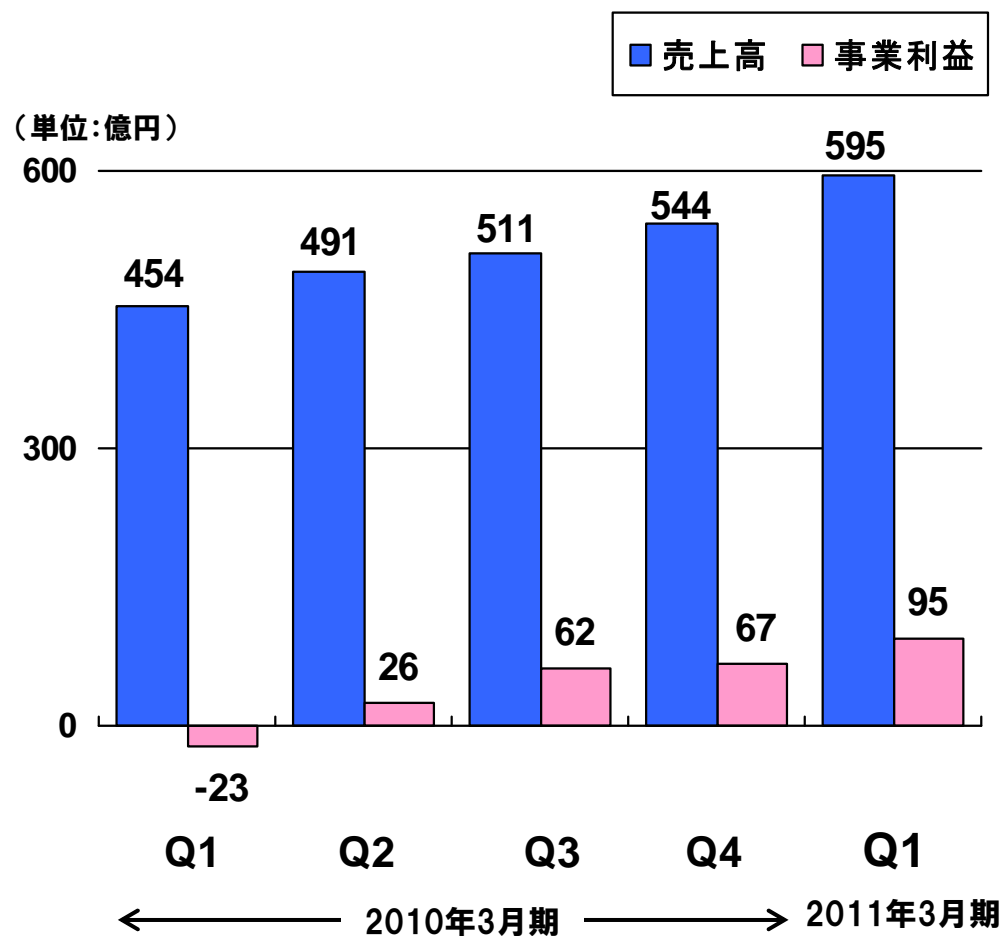
前期第4四半期比

売上高 ▲7億円
事業利益 ▲15億円

- ・ 機械工具事業の需要は堅調に増加
- ・ 円高及び本年度の国内住宅用補助金受付開始の遅延などの影響により、ソーラーエネルギー事業の収益は減少

事業セグメント別四半期推移

電子デバイス関連事業



前年同期比

売上高 + 141億円
事業利益 + 118億円

- ・ デジタルコンシューマ機器や産業用途向け部品の需要増加により増収
- ・ 増収効果に加え収益性の向上により、事業利益は大幅に改善

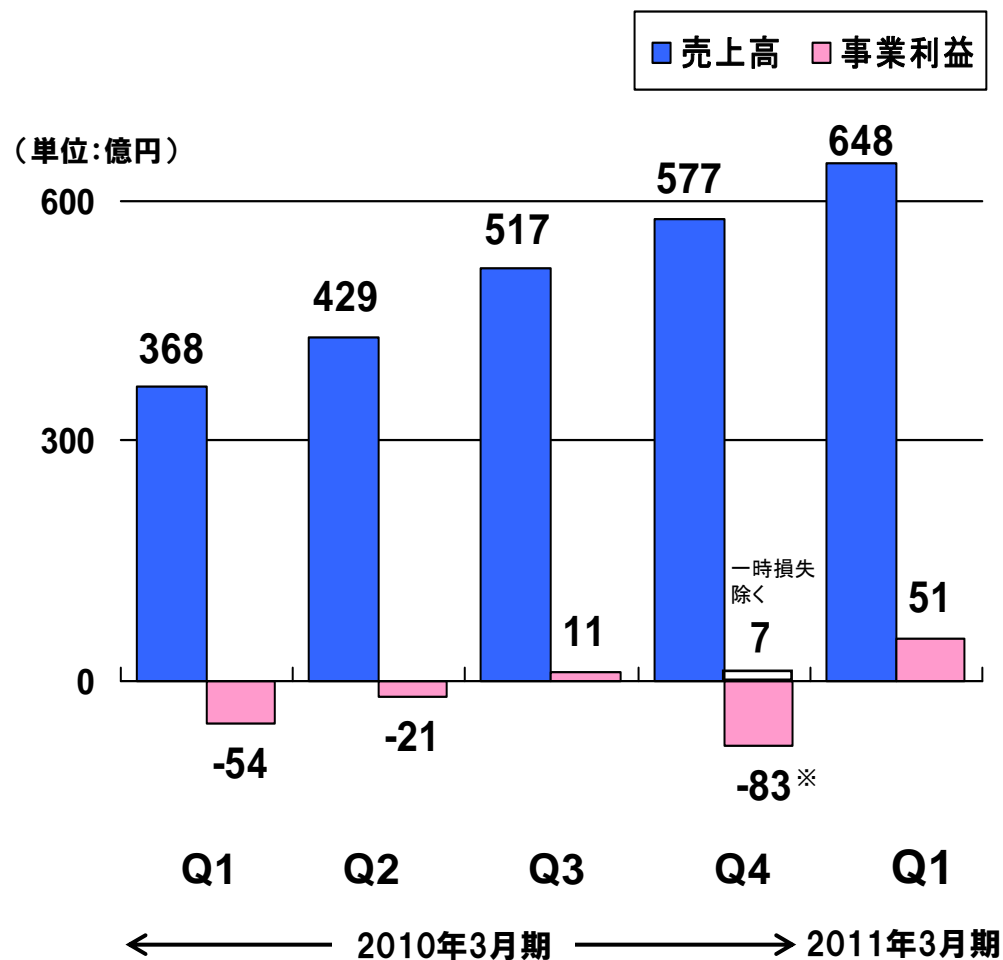
前期第4四半期比

売上高 + 51億円
事業利益 + 28億円

- ・ 引き続き、デジタルコンシューマ機器や産業用途向けに部品需要が増加し、増収増益

事業セグメント別四半期推移

通信機器関連事業



前年同期比

売上高 + 280億円
事業利益 + 105億円

- ・ 国内での売上増及び海外での販売モデル数の増加により増収
- ・ 増収及び事業構造改革の効果により、事業利益は大幅に改善

前期第4四半期比

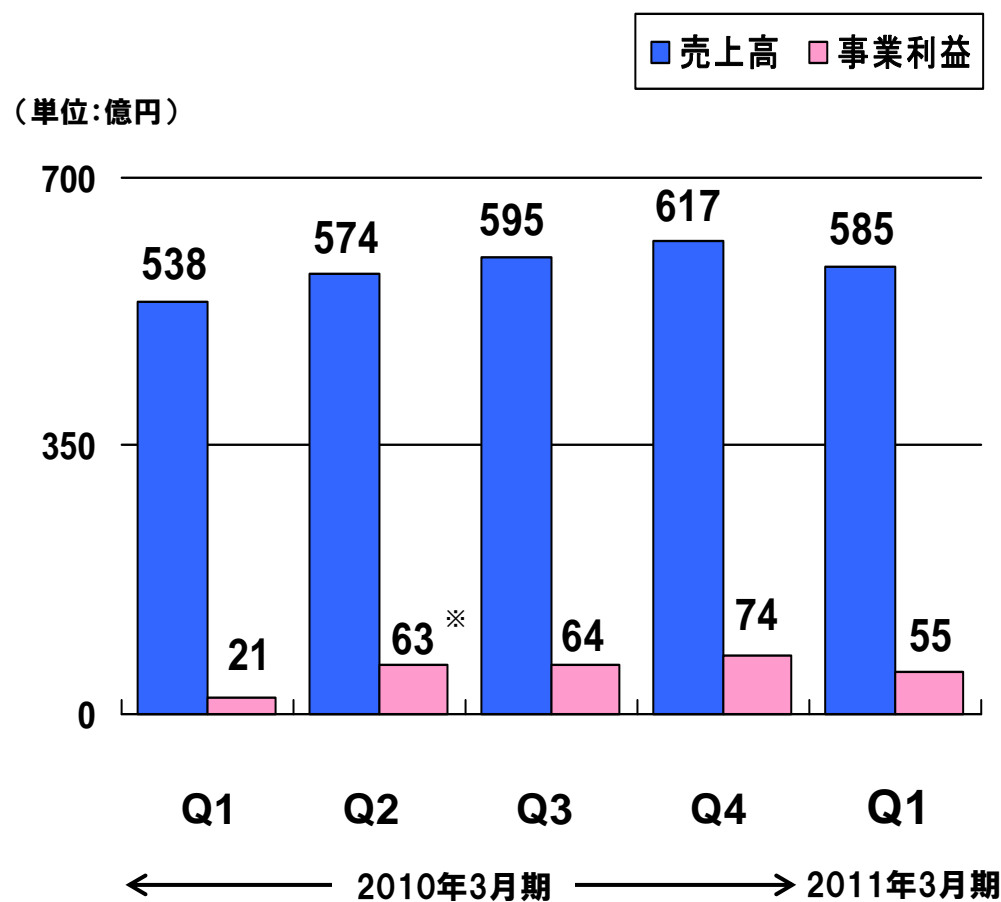
売上高 + 71億円
事業利益 +134億円

- ・ 特に、国内市場での買い換え需要の獲得により増収
- ・ 一時損失の影響を除いても、増収効果及び海外事業の収益性改善により、事業利益は大幅に増加

※一時損失90億円を含む

事業セグメント別四半期推移

情報機器関連事業



前年同期比

売上高 + 47億円
事業利益 + 34億円

- ・ 情報化投資の抑制や円高の影響はあったものの、カラー製品の販売増により、増収増益

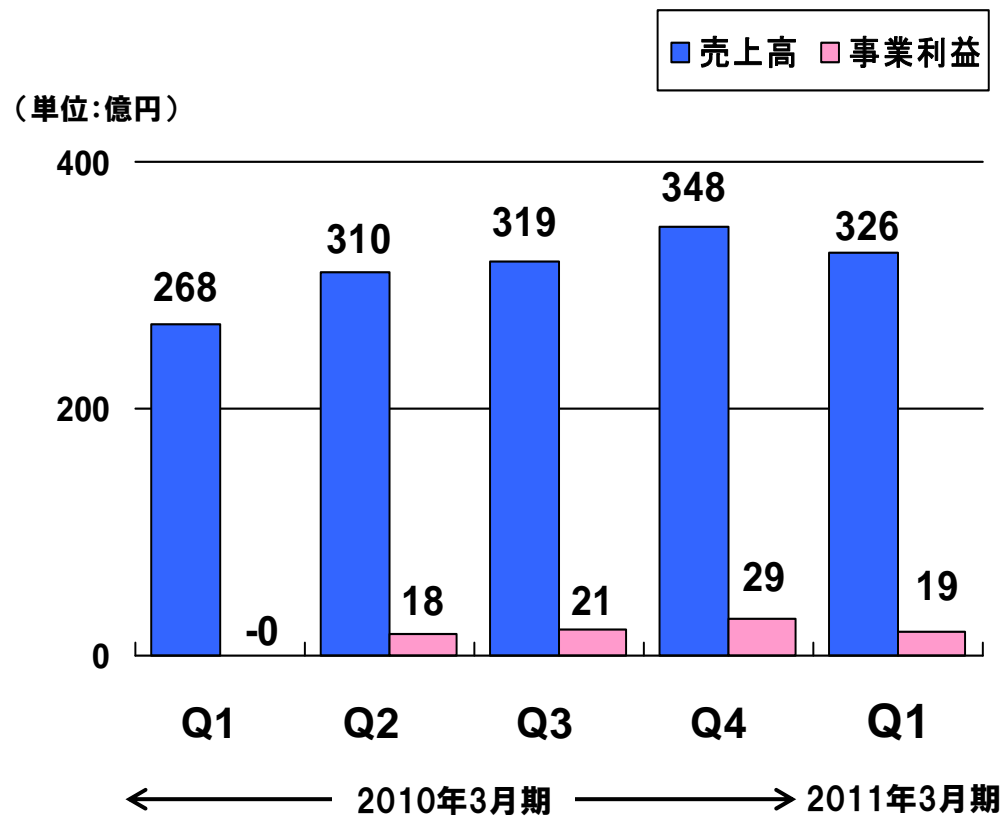
前期第4四半期比

売上高 ▲32億円
事業利益 ▲19億円

- ・ 新製品投入による拡販を図ったものの、季節要因及び円高ユーロ安の影響により、減収減益

事業セグメント別四半期推移

その他の事業



前年同期比

売上高 + 58億円
事業利益 + 19億円

- ・ 事業環境の改善や収益性の向上により、京セラコミュニケーションシステム(株)や京セラケミカル(株)は増収増益

前期第4四半期比

売上高 ▲22億円
事業利益 ▲10億円

- ・ 京セラケミカル(株)の収益は拡大したが、京セラコミュニケーションシステム(株)の収益は季節要因により減少

2011年3月期の主な取組み

1. デジタルコンシューマ機器用部品の売上拡大

- 好調な受注を売上拡大につなげる



2. ソーラーエネルギー事業の売上拡大

- 滋賀野洲工場の稼動：8月よりセルの生産開始予定
- モジュール工場の生産拡大：6月よりサンディエゴ工場生産開始
生産能力拡大(前期末比約50%増)

3. 通信機器関連事業の売上拡大

- 継続的な新商品投入と拡販
- 中南米市場の開拓



Zio M6000
(スマートフォン)

2011年3月期 通期業績予想

(単位:億円)

	2010年3月期		2011年3月期 予想		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	率 (%)
売 上 高	10,738	100.0	12,000	100.0	1,262	11.8
営 業 利 益	639	5.9	1,220	10.2	581	91.0
税引前当期純利益	608	5.7	1,320	11.0	712	117.1
当社株主に帰属する 当期純利益	401	3.7	850	7.1	449	112.0
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益 (円)	218.47	—	463.16	—	244.69	—
設 備 投 資 額	379	3.5	600	5.0	221	58.4
減 価 償 却 費	606	5.6	700	5.8	94	15.5
研 究 開 発 費	499	4.6	600	5.0	101	20.2
	2010年3月期		2011年3月期(今回公表予想)		2011年3月期(4月公表予想)	
平均為替レート	対ドル: 93円	対ユーロ: 131円	対ドル: 88円	対ユーロ: 110円	対ドル: 90円	対ユーロ: 120円
為替変動による 影響額	売上高	約-490億円	約-650億円	約-410億円	約-410億円	約-410億円
	税引前当期純利益	約-135億円	約-230億円	約-130億円	約-130億円	約-130億円

(注) 2011年3月期業績予想の希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は、2011年3月期第1四半期の希薄化後の期中平均発行済株式数を用いて算出しています。

2011年3月期 事業セグメント別 売上高予想

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期		2011年3月期予想		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	率 (%)
■ ファインセラミック部品関連事業	531	5.0	640	5.3	109	20.6
■ 半導体部品関連事業	1,405	13.1	1,580	13.2	175	12.4
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,570	14.6	2,010	16.8	440	28.0
■ 電子デバイス関連事業	1,999	18.6	2,170	18.1	171	8.5
部品事業 計	5,505	51.3	6,400	53.4	895	16.3
■ 通信機器関連事業	1,891	17.6	2,000	16.7	109	5.8
■ 情報機器関連事業	2,324	21.6	2,430	20.2	106	4.6
機器事業 計	4,215	39.2	4,430	36.9	215	5.1
■ その他の事業	1,246	11.6	1,420	11.8	174	14.0
調整及び消去	-228	-2.1	-250	-2.1	-22	-
売上高	10,738	100.0	12,000	100.0	1,262	11.8

2011年3月期 事業セグメント別 事業利益予想

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期		2011年3月期予想		増減	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	-8	-	100	15.6	108	-
■ 半導体部品関連事業	172	12.3	250	15.8	78	45.1
■ ファインセラミック応用品関連事業	199	12.6	290	14.4	91	46.0
■ 電子デバイス関連事業	132	6.6	280	12.9	148	111.6
部品事業 計	495	9.0	920	14.4	425	85.7
■ 通信機器関連事業	-147	-	60	3.0	207	-
■ 情報機器関連事業	221	9.5	221	9.1	0	0.0
機器事業 計	74	1.7	281	6.3	207	281.5
■ その他の事業	68	5.4	78	5.5	10	15.2
事業利益 計	637	5.9	1,279	10.7	642	100.9
本社部門損益等	-29	-	41	-	70	-
税引前当期純利益	608	5.7	1,320	11.0	712	117.1

将来予想に関する注意事項

この資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。かかる将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1)当社が関連する市場における経済状況(主に、日本、北米、欧州及びアジア(特に中国))。(2)当社が事業を行なう国における経済・政治・法律面での予測し得ない条件の変化。(3)競争の激しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場において、当社が革新的な製品を開発・生産し、品質・納期を含めて顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力の不確実性。(4)社外委託工程や自社内製造過程で生じる遅れや不具合の発生。(5)円高、政治・経済情勢、売掛金回収リスク、製品の価格競争力の低下、輸送経費の増大、海外事業への人材配置・管理の問題、知的財産権の保護の不十分性等、輸出に影響する可能性がある要素。(6)売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)の対円為替相場の変動。(7)当社の顧客の財務状態の悪化による売掛債権の回収リスク。(8)エンジニアリング・技術部門での熟練労働者の確保の不確実性。(9)機密保持及び特許権等の知的財産権の保護の確保が不十分である事態。(10)製品を製造・販売する為に必要となるライセンスの継続的確保の不確実性。(11)今後の取り組み及び現在進行中の研究開発が期待される成果を生み出さない事態。(12)買収した会社や取得した資産に関連して想定以上の統合費用が発生し、期待される収益又は事業機会が得られない事態。(13)テロ行為、疾病、紛争の発生等、当社の市場やサプライチェーンに悪影響を与える要素。(14)製造施設その他主要な事業関連施設が存在する地域における地震などの自然災害の発生。(15)国内外の環境規制強化に伴う当社の賠償責任や費用負担の増大。(16)保有する有価証券及びその他の資産の時価の変動、減損処理の発生。(17)繰延税金資産及び法人税等の不確実性。(18)会計基準の変更。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。